若戸大橋おすすめスポット！

昭和37年9月27日に開通した若戸大橋の名所めぐり。

Ⓐ 慰霊碑

若戸大橋の建設中に亡くなられた10名の方の慰霊碑。昭和37年9月25日建立された。若戸大橋を見守るように海に向かって建てられ、裏には地元若松が生んだ芥川賞作家・火野葦平の実弟、玉井政雄氏による碑文が刻まれている。

Ⓑ 若戸大橋50周年記念展示室 アビュレッド・プリジアム

平成23年から約1年をかけて実施した大規模補修及び健全度調査で取り替えた橋梁部材（50年間使用されたもの）や、建設当時の設計図、写真等を展示するとともに、記録映像なども観賞できる。

［お問い合わせ先］北九州市道路公社 TEL（093）881-2183

Ⓒ 大野伴睦碑

若戸大橋の建設に尽力した大野伴睦氏をたたえ、建立された句碑。

Ⓓ 若戸大橋完成記念碑

「記念碑大日時計」として若戸大橋料金所手前に設置されていたが、開通50周年に併せ、戸畑渡船場前に移設した。

碑には次の詞が刻まれている。

"この橋を我ら挿げん、輝ける科学と智恵と、結びたる栄ある橋ぞ"

Ⓔ 若戸大橋 橋歴版

戸畑側橋台入口に設置されている。建設当時の若戸大橋の延長や幅員及び使用された主要資材の量とともに工事名とその施工会社14社の名前が刻まれている。総事業費は51億円、現在の価値で800億円から900億円程度と思われる。これだけの規模の工事が3年半で完成したのは驚きである。

Ⓕ 若戸博記念碑

若戸大橋の完成を記念して、開通の翌日から約2カ月間「若戸博覧会」が開催された。若戸博の正式名称は「産業・観光と宇宙大博覧会」。記念碑の横には、若戸大橋完成から6カ月後に誕生した北九州市の前途を祝した青年像「大気」（彫刻家 中野素昂 作）が立っている。

若戸大橋ビュースポット！

① 高塔山

サクラの木1,800本を誇る名所として知られる標高124mの高塔山。

② 南海岸通りエルナード

大空と洞海湾一面を黄金色に染めて昇る夏の朝日。橋の真ん中から顔を出す。

③ 若松南海岸通り

当時のままの古い建物が建ち並ぶ。深紅の若戸大橋がひときわ鮮やか。

④ 若戸大橋主塔下

地球の大空を二つに分ける。若戸大橋だからこそできる、特徴以上の本物。

⑤ 若松側漁港前

漁船が係留された港町若松らしい風景。若松側主塔横の漁港。

⑥ 若戸渡船より

船上から眺める若戸大橋。「東洋一」（当時）の長大スパンで魅了する。

⑦ 日本水産前

洞海湾をまたぎ、大きく赤い翼を広げる若戸大橋。橋の下の海原には決まって渡船が走っている。

⑧ お汐井汲みの場

戸畑祇園祭に先立って、お汐い取りの神事が、この場所で行われる。

⑨ 川代岸壁

若松側の主塔下に沈む夕日によって、大空と洞海湾は黄色一色に染まる。

⑩ 都島展望公園

若戸大橋と洞海湾を一望できる「夕日の名所」として名高い自然公園。